

📅 8月8日 グランメッセ熊本

第2期特定健診・特定保健指導の実践に向けて 基本を再確認し、新しい情報や考え方を学ぶ

平成 25 年度特定健診・特定保健指導担当者初任者研修会（初級編）

熊本県保険者協議会（保健事業部会）が開催し、県内保険者と健診・保健指導機関から事務職や保健師、栄養士など約 150 人が参加した。

実践編は、11 月 6 日に開催予定。

○「特定健診・特定保健指導について」

全国健康保険協会熊本支部企画総務部保健グループリーダーの園川太郎氏が、特定健診・特定保健指導の導入の経緯や「健康日本 21（第二次）」における位置付けなどを踏まえて、「標準的な健診・保健指導プログラム【改訂版】」に示された特定健診・特定保健指導の概要や実施方法、改訂版のポイント、地域保健・職域保健と保険者協議会の連携の重要性などについて説明した。

○「生活習慣病の発症及び重症化予防に向けて

～健診結果を分かりやすく説明できるように～

済生会熊本病院予防医療センター医長の高尾祐治氏が、健康寿命の重要性や生活習慣病の定義と意義、動脈硬化発現のメカニズム（高血糖、高血圧、脂質異常、喫煙、遺伝などの危険因子の詳細）、「Successful Aging（健全なる加齢）」の考え方、かかりつけ医作りの重要性などについて講演した。

○「対象者に応じた運動指導・栄養指導をするために」

【運動指導について】

済生会熊本病院予防医療センター健康運動指導士の有吉亮氏が、同センターにおける特定保健指導の概要を紹介し、今年度策定された「健康づくりのための身体活動基準 2013」の変更点（「週 23Ex（エクササイズ）⇒1日 60 分」、「目標+10（プラステン）」）や疾患別運動禁忌などについて説明した。

【栄養指導について】

済生会熊本病院予防医療センター管理栄養士の森川清美氏が、「標準的な健診・保健指導プログラム【改訂版】」における標準的な質問票のうち食行動に関するものの活用について説明し、同センターにおける栄養指導の概要と実績、事例などを紹介した。



📅 7月29日、8月12～14日 市町村自治会館

PCを操作しながら変更点などを確認

国保総合システム保険者操作説明会

今年度は、県内保険者の国保事務担当者を対象に4日間に分けて開催し、計40保険者から57名の参加があった。

共同電算処理スケジュール、療養費、高額療養費、高額介護合算療養費及び資格確認・給付点検の各業務について各担当者から説明を行い、これまでに問い合わせの多かった事項や6月に改修された内容等を踏まえ、実際に国保総合システムのパソコンを使いながら基本的な入力方法の確認を行った。

特に、資格確認・給付点検業務については大幅な改修が行われたため、画面及び出力帳票における変更点や注意点について詳細に説明した。



📅 8月9日、23日 城南公民館（火の君文化センター内）

ケアプランチェックの重要性を知り、その実践を学ぶ

平成25年度介護給付適正化専門研修

7月19日開催の「介護給付適正化システムによる提供情報活用研修会」に続いて、ケアプランのチェックに関する研修会を2日間の日程で開催した。

ケアプランは介護給付の要であり、そのチェックを行うことは給付適正化にもつながることから、「適正化プログラム」の重点項目の一つである。

本会介護保険課では、平成21年度から毎年、本会介護給付常任審査委員を講師に「介護給付適正化専門研修」として開催してきた。本年度は、県主催の介護給付適正化研修とも連携し、ケアプランチェックに関する事前アンケートの結果や参加者の担当年数を踏まえて、研修内容を検討した。28市町村から39人の参加があり、先に開催した研修会同様、参加者の7割が初任者であった。

【第1回（9日）：講義】

講師から、基本的な内容（ケアプランチェック策定における趣旨及び保険者がケアプランをチェックする意図・目的など）の講義があり、その後、ケアプラン事例を確認しながらケアプラン策定過程に関する具体的な解説があった。

午後からは、本会担当者から、介護給付適正化システム提供情報の中から、ケアプランチェックに関連した適正化情報を紹介した。（第2回の研修のために、課題用ケアプラン事例を配付した。）

【第2回（23日）：演習】

「実践編」として演習形式による研修を行った。講師からケアプランチェックの考え方やポイントなどの解説を受けながら、各自、前回持ち帰った課題用ケアプランのチェックを行った。午後からは、「ケアプランチェックをどのように実践していくか」などをテーマにグループワークを行った。

講師から、「介護支援専門員は、保険者からケアプランについて問われることにより、職責を自覚し、また質の向上につながる。介護支援専門員と一緒にケアプランについて考えるということからでも、ぜひ問い続けていただきたい」と助言があった。

研修会後のアンケートでは、参加者から「ケアプラン策定過程を知る中で、アセスメントの重要性、自立支援の考え方を意識した」「グループワークがあり他の市町村の意見を聞くことができ、また、気持ちの共有もできてよかった。連携と継続が重要と感じた」「ケアプランチェックは難しいが、まずケアプランを提出してもらうことから始めたい」などの声が寄せられていた。